

市議会だより

新しい議会の構成	▶ 2
一般質問	▶ 4
令和3年第1回臨時会・6月定例会 議案等の審議結果	▶ 10
全国市議会議長会表彰	▶ 13
議会報委員会の紹介	▶ 14

議長に藤原明議員を選出

副議長には田中耕太郎議員、監査委員には花岡有一議員



新議場にて(令和3年5月20日)
※写真撮影のため、マスクを外しています。



副議長
田中耕太郎
(令和会)

新しい議会の 構成をお知らせ します



議長
藤原
(無所属)



委員長
日景賢悟
(令和会)

委員長

厚生常任委員会(定数7人)

総務財政常任委員会(定数7人)



委員長
石垣博隆
(令和会)

委員長



副委員長
佐藤久勝
(令和会)



副委員長
阿部文男
(令和会)

副委員長



副委員長
小棚木政之
(令和会)



副委員長
佐藤眞平
(令和会)

副委員長



田村儀光
(活性大館)



花岡有一
(令和会)



笹島愛子
(日本共産党)



伊藤毅
(令和会)



相馬エミ子
(市民の風)



明石宏康
(市民の風)



菅大輔
(市民の風)



佐藤芳忠
(市民の風)

- 【主な審査事項】**
- ▼ 戸籍、住民基本台帳
 - ▼ 国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療費、介護保険
 - ▼ 国民年金
 - ▼ 市民税などの賦課・徴収
 - ▼ 防犯、交通安全対策
 - ▼ 生活環境保全、廃棄物(ごみ・し尿)処理
 - ▼ 新エネルギー政策
 - ▼ 市民の健康、地域医療
 - ▼ 生活困窮者対策、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉
 - ▼ 市立総合病院、扇田病院
 - ▼ 保育園、児童館
 - ▼ 斎場、ペット霊園

- 【主な審査事項】**
- ▼ 総合計画、総合戦略
 - ▼ ふるさと納税の推進
 - ▼ 財政計画、予算編成
 - ▼ 災害対策、危機管理
 - ▼ 新庁舎の計画・建設等
 - ▼ 広報・広聴
 - ▼ 市の組織、職員人事
 - ▼ 市有財産の利活用
 - ▼ 工事の入札・検査
 - ▼ 選挙、監査
 - ▼ 消防
 - ▼ 現金の出納・保管
 - ▼ 他の常任委員会に属さない事項

議会運営委員会

議会運営に関すること
などについて協議してい
ます。

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎小畑 淳(令和会)
- 小棚木政之(令和会)
- 佐藤 久勝(令和会)
- 伊藤 毅(令和会)
- 明石 宏康(市民の風)
- 菅 大輔(市民の風)

各種委員等

◇監査委員

花岡 有一(令和会)

◇民生委員推薦会委員

阿部 文男(令和会)
相馬エミ子(市民の風)

◇都市計画審議会委員

田中耕太郎(令和会)
小畑 淳(令和会)
岩本 裕司(市民の風)

◇秋田県後期高齢者医療広
域連合議会議員

藤原 明(無所属)

委員
長



小畑 新一
(公明党)

副委員
長



柳 館 晃
(令和会)



武 田 晋
(令和会)

教育産業常任委員会(定数6人)

建設水道常任委員会(定数6人)

委員
長



佐々木 公 司
(令和会)

副委員
長



斉 藤 則 幸
(公明党)



藤 原 明
(無所属)



田 中 耕太郎
(令和会)



田 村 秀 雄
(市民の風)



富 樫 孝
(市民の風)



岩 本 裕 司
(市民の風)



小 畑 淳
(令和会)



吉 原 正
(市民の風)

【主な審査事項】

- ▲ 農林業政策の総合企画
- ▲ 農林業、畜産の振興
- ▲ 農地等の利用集積
- ▲ 商工業の振興、企業誘致、中小企業の育成
- ▲ 観光及び物産振興、地場特産の開発、流通促進
- ▲ 観光行事の振興
- ▲ 移住交流の推進
- ▲ 小・中学校の管理運営
- ▲ 学校給食、教育研究所
- ▲ 生涯学習の推進、芸術文化の振興、青少年健全育成
- ▲ 社会体育、スポーツ推進
- ▲ 公民館、図書館、郷土博物館、鳥潟会館、松下村塾

【主な審査事項】

- ▲ 道路、橋梁の新設・改良・維持管理、河川の改良・維持管理
- ▲ 都市計画の総合企画
- ▲ 都市計画、都市公園事業
- ▲ 市営住宅
- ▲ 中心市街地のまちづくりの推進
- ▲ 小規模水道
- ▲ 戸別浄化槽
- ▲ 水道事業
- ▲ 工業用水道事業
- ▲ 下水道事業

園芸メガ団地事業一億二千万円を 有効な農地活用に

たむら
ひでお
田村 秀雄 議員（市民の風）



〔問〕 園芸メガ団地について、一億二千万円の事業を有効な農地利用に。耕作放棄地解消や地域農家との連携は。

〔市長〕 田代地域で取り組んでいる園芸メガ団地事業は、農業に強い関心を持った新規農業者がニンニクの産地化を目指すもので、食品加工も行うなど6次産業化を具体化する取組であり、市としても全面的に応援していきたい。

〔問〕 十ノ瀬藤の郷園内のぬかみの解消と管理者に対する補助金の増額が必要と思われる。さらには山瀬ダムや田代岳の自然観光につなげほしい。

〔市長〕 多くのイベントが中止になる中、十分な感染対策をして御協力いただいた田代中学校の生徒の皆さんや地元ボランティアの皆さんに

感謝申し上げる。今年度は地域応援プラン活動支援事業を活用してシャトルバスが運行され、問題となっていた駐車場不足や交通渋滞も解消されたと思う。今後、維持管理費の捻出や採算性、ぬかみ解消対策、方向性については運営団体と協議していきたい。山瀬ダムや田代岳とともに田代地域の重要な観光資源の一つとして捉えており、これから始める五色湖周辺での野遊びSDGs事業とどう結びつけていくか関係団体と協議しながら検討してまいりたい。

〔問〕 市道越山線の傷み対応について。

〔市長〕 市道越山線は五色湖ロτζジヤ田代岳、ロケット燃焼試験場に通ずる重要な路線で、令和4年度から令和8年度まで5年計画で全面舗装を行う予定である。

〔問〕 コロナワクチン接種の対応と今後の予定は。

〔市長〕 電話がつながりにくいの苦情が寄せられた。これを受け、オペレーターを増員、インターネット予約の導入、「慌てずに」の周知により、状況は改善されている。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

行政における施策の検証について

ひかけ
けんこ
日景 賢悟 議員（令和会）



〔問〕 コロナ対策について。

〔1〕 市内で感染が少ないのは市民の努力の賜物。市長から感謝の意を。
〔2〕 今まで行ってきた様々なコロナ対策支援事業についての感想は。

〔3〕 影響が甚大な産業（業界）に対し、今後も十分な支援策を望む。
〔4〕 ワクチン接種の今後の展望は。

〔市長〕 市民の皆様や事業者をはじめ、医療関係者の努力に対し、改めて深く感謝を申し上げます。市では、今まで様々なコロナ対策事業を展開し、事業者の皆様から好評を得ており、大きな効果があったと認識している。今年度の支援は上半期に集中させ、下半期は社会情勢の変化を見極め、的確な支援につなげる。ワクチン接種はドームでの集団接種を基本に、医療機関での個別接種も同時並行的に行う予定。

〔問〕 行政における施策の検証。

〔1〕 システムをつくり、建物を建て、PRすること自体が目的になっていないか。

〔2〕 プロモーションは手段であり、求めるべきは結果ではないか。

〔3〕 足し算の行政から、引き算（選択と集中）の行政に移行すべき。

〔4〕 結果を出している施策（強み）には潤沢な予算と人員配分をすべき。

〔市長〕 建物を建て、PRすることとで、どのような効果があったかが目的。強み（成果が上る施策）を吟味し、選択と集中（引き算の行政）を進める。KPIを設定し、広告経済効果や投資利益率を施策に生かす。

〔問〕 福原市政6年間の総括は。

〔1〕 6年間を振り返った所感。
〔2〕 SWOT分析（強み・弱み・機会・脅威）に当てはめるとどうか。

〔3〕 今後、特に力を入れる政策は。
〔4〕 未来の大館市をどんな市にしたいか。

〔市長〕 これまでの経験と人脈を生かし、関係性人口、交流人口を拡大させるまちづくりに全力を注いだ。議員御紹介のSWOT分析を生かし、新しい大館の礎を築く長期的視点をもち、匠と歴史を伝承し、誇りと宝を力に変えていく未来創造都市大館をつくる。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

新庁舎の見学が進む中、市民の意見を生かし、
市民が利用しやすい庁舎にすること

菅島 愛子 議員（日本共産党）



り全国的に大きな被害が出ている。自然と共存する私たちは、常に安全が担保されていなければならない。以前にもこの問題について質問したが、見通しが見えず不安は解消されない。まずは、災害軽減の対策を示していただきたい。

〔市長〕 道路の法面对策は、現在、計画的に点検を実施している。

生活道路の側溝清掃については、地域の皆様の御協力をいただきながら、土砂が多く堆積している箇所や、道路横断箇所を中心に実施している。大雨による災害の軽減対策としては、都市下水路や道路側溝の排水に支障が生じないように、管理を行うとともに浸水が予想される地域への注意喚起なども実施する。

〔問〕 新庁舎を利用した方からの御意見など、まだ多くは聞かされていないが、障害者の方がスムーズに歩いて行けるよう工夫してほしいというのと、コロナ禍の今だからこそ、トイレにペーパータオルを設置すべきではないかという声に答えてほしい。

〔市長〕 障害者用駐車スペースについては、東側来客用駐車場に一台分を設置し、西側出入口のスロープ付近にも一台分を増設した。今後、旧庁舎解体後にも設置していきたい。庁内トイレのペーパータオルの設置については、コロナ禍の現在においては、感染拡大予防の観点から設置すべきでないと考ええる。

道路や法面、側溝など、
災害軽減対策の見直しは

〔問〕 毎年、大雨や台風などによ



一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

長木溪谷の景観・周辺整備を

小棚木 政之 議員（令和会）



間委託の導入を検討。データベース化も進めており、改善を図っていく。

〔問〕 旧小坂線御成町踏切付近の交差点に横断歩道と信号機を。

〔市長〕 駅前再整備が進み往来増が予想され、引き続き関係機関に要望協議していく。

長木溪谷の景観・周辺整備を

〔問〕 市街地至近で市内有数の景勝地ながら道路も景観も管理が行き届かず不法投棄も止まない。

〔市長〕 観光ルート等の整備は、国や県と協議をしながら取り組む。行政の縦割りを打破するのが政治。

境界知能児の義務教育後の支援は

〔問〕 軽度知的障害と健常者の間にある境界知能児への支援体制は。福祉や教育から取りこぼされることのないようにしてほしい。

〔市長〕 障がい者サポートに関する情報発信や、サポーター養成講座などに取り組んでいる。卒業後の学習機会の拡大、福祉まるごと相談支援事業で体制強化を図る。

道路管理の在り方の改善を

〔市長〕 マニュアルに即して対応しているが、新たな課題が浮き彫りになった。改善に努める。イノシシについては常陸大宮市などと情報交換し、関係機関と連携し対策する。

〔問〕 市道の管理体制は正しく機能していない。データベース化し、通報と補修履歴を公開することで市民の協力を仰ぐなど改善を。

〔市長〕 維持管理費の低減、業界の技術力向上などを目的に包括的民

医師が患者の自宅等を訪問し診療する『在宅医療』
を行っている旧比内町のようには、未実施の旧田代
町と旧大館市でも『在宅医療』の早急な実施を

さとう よしただ
佐藤 芳忠 議員（市民の風）



開業医の先生方いわゆる医師会との
連携が私は何よりも必要だと考えて
おります。

じゃあ、なぜ扇田病院はやってる
のにと話になると思っています。

扇田病院は、急性期の患者は総合
病院に任せて、回復期あるいは療養
期の患者に集中してもらおう。

〈問〉在宅医療をしている8医療
機関を教えてください。

総合病
院は入院患者のための病院だから在宅
医療はやらなと言いましたが、
扇田病院は入院患者がいながら在宅
医療をしています。市立病院は市民の
ための病院です。総合病院は入院患
者のための病院だから在宅医療でき
ないというはおかしいと思います。

扇田病院は2年度は95件の在宅医
療を行っています。しかし総合病院
は訪問診療も往診もしていないため
旧田代町と旧大館市の寝たきりや通
院困難な市民は困っています。5人
しか医師がいない扇田病院で在宅医
療を行っているのですから、51人も
医師がいる総合病院でも在宅医療が
できるはず。旧田代町と旧大館
市での早急な実施をお願いします。

〔市長〕 市内では扇田病院を含む
8医療機関が在宅医療をしています。
総合病院は急性期の病院で、入院し
ている方のためにある病院です。
在宅医療を展開していくためには、

あと、扇田病院がこれから地域に
おいて果たさなければならぬ役割
外来機能を充実させていきたい。
そして総合病院はいざという時の
有事の際の医療を行うという病院で
あるとご理解いただきたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

陽電子放射断層撮影法（PET検査）
の導入について

いわもと
岩本 裕司 議員（市民の風）



む今後の方向性については、総合病
院と扇田病院それぞれの役割を明確
にするともに、診療機能連携をさ
らに進めることにより、地域の医療
提供体制が充実するよう病院事業経
営戦略会議で検討を続けてきたこ
ろである。詳細は、本定例会で報告
させていただきます。

ドローンの飛行空間の確保

〈問〉救命救急センター開設後は、
がんの早期発見に優れているといわ
れる「陽電子放射断層撮影法」を導入
し、がん患者の安心に役立てたい
いただきたい。

〔病院事業管理者〕 機器の導入判
断にあたり、大館・鹿角、北秋田市
を含めた医療圏の人口並びに検査需
要等を考慮した場合、これまで同様
に装置を有する弘前市の医療機関と
の連携により、対応してまいりたい。

老朽化の著しい扇田病院の
今後について

〈問〉地域に信頼と安心を与える
扇田病院は、一般病棟・療養病棟の
利用率や病床数を考慮し、ローコス
ト建設で建て替え・移転を進めてい
いただきたい。

〔市長〕 病院移転・建て替えを含

〔市長〕 郊外では人や建物などに
配慮しながらであれば飛行させるこ
とは可能である。さらに、ニプロハ
チ公ドームのアーリーナにおいても可
能である。愛好者の方々が交流する
場にもなると考えている。先端技術
に触れることは、子供たちが持つて
いる無限の可能性をより一層広げる
ことにつながるものである。産学官
が連携して子供たちが先端技術に触
れる機会を設けている。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

新型コロナウイルス対応などについて

佐々木 公司 議員（令和会）



〔市長〕 本市でも令和元年にウッドスタート宣言をしており、木育等の取組を推進している。おもちゃ美術館は1県1か所と聞いているので「木のおもてなし」の取組を推進したい。

旧庁舎らせん階段の保存と活用を

〔問〕 俳優の山本圭氏の父親の本勝巳氏設計であり、登録有形文化財として保存できないか。

〔市長〕 経年劣化でコンクリートの強度そのものが低い。新・旧庁舎を映像として記録したい。

75歳以上の医療費の負担割合引上げについて

〔問〕 法改正により医療費負担が1割から2割へ。本市の実情とその影響予測は。

〔市長〕 皆保険を次世代へ引き継ぐ施策で、本市では被保険者1万4967人の約10%が該当の推計。今後、国の動向を注視していく。

少子化対策について

〔問〕 県内出生数は最少を更新したが、その対応は。

〔市長〕 結婚・出産・子育てを重層的に支援する取組を展開する。

一般質問

一般質問の全文は、9月中旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

新型コロナウイルスワクチン接種体制

齊藤 則幸 議員（公明党）



については、通常診療に影響が及ばないよう考慮しながら、医師会と協議の上、慎重に判断したい。

コロナ禍の熱中症対策

〔問〕 コロナ禍における小・中学校の熱中症対策は

〔教育長〕 体育などの運動時は、マスクの着用はしないことや、対面になる時以外は外させるなど、熱中症対策を優先させた対応をしている。エアコンは、全校の普通教室や理科室などに設置を進め、7月から順次使用可能となる見込み。

モバイルクリニック実証事業

〔問〕 長野県伊那市で行っているモバイルクリニック実証事業を導入できないか

〔病院事業管理者〕 移動診療車を活用することで高齢者や車椅子の利用者が来院することなく受診でき、看護師が対面でサポートしながらオンライン診療を行うことで高齢者も不安なく受診できる。医師の移動に要する時間がなくなり負担軽減になる。先進事例の成果を研究したい。

〔問〕 高齢者の予約状況は

〔市長〕 今年は65歳以上の高齢者、約2万8000人のうち、接種済みの方や、巡回接種を行っている高齢者施設入所者などを除く、約2万5000人に接種券を送付、6月9日までに2万1215人からの予約を受け付けた。

〔問〕 高齢者の接種については

〔市長〕 6月12日、13日の2日間での接種状況は、予約者8000人のうち、7909人に接種した。

〔問〕 高齢者の移動の支援策は

〔市長〕 4か所からシャトルバスを運行しているが、来場が困難な方や、日程が合わない方を対象に、7月以降、医療機関での個別接種を行う準備も進めている。

〔問〕 今後の市民へのワクチン接種については

〔市長〕 かかりつけ医での接種に

東京オリンピック対応について

〔問〕 東京オリンピックについて、ホストタウン受入れの状況は。

〔市長〕 タイ王国パラリンピック委員会からの決定を待っている状況。（※受入れは中止となりました）

木のおもちゃ美術館について

〔問〕 鳥海山木のおもちゃ美術館（国登録有形文化財旧鮎川小学校を活用）を視察し、内容のすばらしさと、その人気に驚いた。本市においても検討してはどうか。

介護保険料の改定について

あべ
ふみお
阿部 文男 議員（令和会）



所運営活動」への支援などを行っている。今後はスポーツを通じて高齢者の健康づくりにも積極的に取り組む。

大館市文化財史跡認定について

〈問〉市は今年度の介護保険料の基準額の据置きを決定したが、この決定は市民の暮らしを守るといふ点においても大きなコロナ支援対策であったと評価をしたい。そして、市長にはコロナ終息後、一気に介護保険料が上昇することがないように、対策を考えておいてほしい。私たちのこれからを支えてくれるはずの制度が、逆に大きな負担を強いられることにならないように、市長には市民の暮らしが一番である事を常に念頭に置いた市政を行ってほしい。

〔市長〕 感染症の影響で介護保険料の支払いが困難となった方への対応は一定の条件があるが、保険料の減免猶予制度で引き続き支援する。介護サービスの給付費は健康寿命の延伸を図ることで抑制できると考える。介護予防を目的とした「通いの場づくり活動」や「地域共生の居場所運営活動」への支援などを行っている。今後はスポーツを通じて高齢者の健康づくりにも積極的に取り組む。

大館市文化財史跡認定について

〔問〕 大館が生んだ2人の偉人、烏瀧隆三博士、烏瀧右一博士に関する建造物や資料を大館市の文化財として保護し、維持してもらいたい。烏瀧隆三博士は、血清の研究で、烏瀧右一博士はスマートフォン元となるTYK式無線電話の発明でお2人共にノーベル賞候補になった。全国的には無名に近い大館の街の花岡という狭い地区から、2人ものノーベル賞候補者が輩出されたという事実を市民はもっと誇りに思ってもらいたいと共に、お2人の功績を後世に残すためにも早急に史跡として認定し、保護や整備をして後世に残す努力をしてほしい。

〔市長〕

両博士に関する事物は引き続き調査を進めており、県の名勝に指定されている烏瀧会館の庭園は国の指定を目指し、計画的に進めている。墓地の史跡認定は個人の所有物で、文化財に指定された場所、管理の負担が大きくなることから、関係者と協議しながら慎重に検討する。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

扇田大橋架け替えと周辺堤防整備

たけだ
ますむ
武田 晋 議員（令和会）



〔問〕 架設後80年程経過し老朽化の激しい扇田大橋は、架け替えの検討が必要。また周辺堤防整備を上流部の鹿角地域と連携しながら米代川全域が国土交通省直轄事業となるよう要望活動を展開してほしい。

〔市長〕 路線バスや緊急車両を除く重量8トンを超える車両の通行を制限し、現在架け替えの検討を進めている。内容は架け替えルートや補修方法の検討、交通量調査等で、事前に能代河川国道事業所へ相談し、米代川堤防整備計画と併せて国の支援をお願いしている。

ベニヤマ自然パーク周辺整備

〔問〕 大葛の将来を考える会は、4月からコテージの指定管理者となり大葛温泉と併せ責任組織となった。施設の連携を深め、橋の建設などは、

根拠を示しながら要望し、今までの運営が期待できる。また閉鎖状態のベニヤマ荘は早期解体の判断を下すべきと思うが市長の考えは。

〔市長〕 現在、市が進める野遊びSDGs事業の大葛地区への展開も想定し、より広い視野で活性化を検討し、ベニヤマ荘と屋内プールの解体及び跡地利用を地域住民や関係機関と協議を継続したい。

敬老会開催の方向づけ

〔問〕 飲食を伴い大きな会場で開催する現在のような敬老会は、コロナ禍を契機にやめ、来年度から各種団体・町内会からの申請に基づき補助金を出す方法に転換したかどうか。

〔市長〕 今年度高齢者を対象に「10年後の敬老会の在り方に関するアンケート」を実施し、来年度以降の開催方式や委託方法、補助金交付の検討を進める。本年度は2、3年度に77歳になった方へ、長寿記念品を贈呈し、町内会で実施する敬老事業費用の一部を助成する事業を実施する。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

少子化問題に対する市長の覚悟について

そうま えみこ
相馬 エミ子 議員（市民の風）



る環境づくりの支援に取り組んでま
いりたい。

福祉避難所の公表を

〔市長〕 2017年に社会福祉施
設を運営する6法人と協定を結び、
全部で16か所を福祉避難所に指定し
ている。市のホームページや防災マ
ップなどに掲載しており、周知徹底
させ、要支援者個別避難計画の策定
にも取り組んでまいりたい。

ホストタウン事業での

タイ王国事前キャンプ受入
れについて

〔問〕 本市はタイ王国パラリンピ
ックチームの事前合宿を予定してい
るが、コロナ禍で105の自治体で
受入れ中止となっており、市民から
不安視する声がある中で、事前キャ
ンプを受け入れるのか伺う。

〔市長〕

予定では選手団30人前後
で、ワクチン接種をした上で合宿す
ることになり、移動、宿泊、食事の
際の動線確保、期間中のPCR検査
など感染症対策を徹底し、大会に臨
めるよう万全の体制で迎える。

（※6月22日にタイ脳性麻痺スポー
ツ協会から連絡を受け、事前キャ
ンプの受入れは中止となりました）

〔問〕 2020年の出生数は80万
人台で出生率1.34と過去最低を更
新し、コロナ禍の影響でさらに70万
人台になるとの厳しい予測が発表さ
れている。本県の場合も4499人
で197人減少し、目標の6000
人の達成は厳しい状況にある。本市
も出生数354人で49人減少してお
り、コロナ禍ですます少子化が進
み深刻な状況である。将来の働き手
不足や、社会保障の担い手不足に直
結する深刻な問題であり、このまま
では町が衰退してしまふ。少子化に
対する市長の覚悟について伺う。

〔市長〕

短期・中期・長期的な施
策を着実に実行し、子育て世帯への経
済的支援を進め、女性の多様な生き
方を受け入れる社会、子供を産み育
てやすい社会など「キッズデザイン」
による子供の遊び場の開設に向けた
準備を進めており、子育てしたくな

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載
する会議録でご覧いただけます。

一般質問

「市政運営について」就任6年の総括と 残任期2年の取組について

たむら のりみつ
田村 儀光 議員（活性大館）



できるまちづくりと、ものづくりに
よる稼ぐ力を高める施策に取り組ん
でいるところである。今後は、アフ
ターコロナを見据えて新しい大館の
礎を築くという長期的な視点を持ち、
内陸の物流基地となる「インランド
・デポ」の整備や、観光振興に向け
た新たな観光周遊ルートの形成、県
内初となる認定を受けた「先導的共
生社会ホストタウン」として、全て
の市民が差別なく暮らすことができ
るバリアフリー社会の構築に向けた
取組などを進めていく。

行政の通信簿について

〔問〕 3年に1回実施している
「大館市世論調査」の結果が広報5
月号に掲載され、満足度については、
27の施策項目の多くで前回を上回る
点数であったが、甘えることなく頑
張っていただきたいと思うが。

〔市長〕

この調査は行政の取組に
ついて重要度と満足度を調査し、予
算の適正配分や市民サービスの現状
把握と質の向上に資するため実施し
ており重要なアンケートである。結
果については前回を上回る点数であ
ったことから行政運営に一定の評価
をいただいたと考えている。今後も
市民サービスの向上に邁進していく。

〔問〕 市政運営について「大館を
変える」をスローガンに市長に就任
して以来6年、持ち前の若さと行動
力、加えて政治力にただただ感心し
て議論してきた自分だが、市長自身
の感想と非常に大事な残任期2年の
市政の取組について。

〔市長〕

平成27年に市長に就任し
て以来「ふるさと大館」を何とかし
なければという強い思いで地域経済
の活性化と人口減少社会に対応した
まちづくりのため、これまでに培っ
てきた経験と人脈を生かし、国や県
他の自治体との連携を強化しながら
国内外に広く目を向け、関係性人口
交流人口の拡大に取り組んできた。
これまでまいた様々な分野の種が、
着実に花を咲かせている。市政2期
目では「内に優しく、外に強い」を
新たな市政の方向性に掲げて、市民
の誰もが安全・安心に暮らすことが

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

新型コロナウイルスワクチンの接種状況、 インフラの維持管理に係る 包括的民間業務委託について

柳館 晃 議員（令和会）
やなぎたて くら



〔問〕 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について、無駄なく接種するための留意点は何か。また、廃棄せざるを得ない場合、出張の多い市長はじめ随行する市幹部職員が積極的に接種すべき。

〔市長〕 ワクチンの保管や取扱いについては、医師会、薬剤師会等と十分に情報共有した上で、適切に管理している。また、接種に当たっては、極力余剰が出ないよう細心の注意を払って実施している。それでも余剰が生じた場合は、ワクチン接種対策室の職員に接種している。自身の接種についても、柔軟に対応していきたい。

〔問〕 インフラの維持管理に係る包括的民間業務委託について、導入の進捗は。導入に当たった課題は。本格的に導入する前に試験的に導入してみているかどうか。

〔市長〕 この制度の導入に向け、私自ら国土交通省へ赴き、本市の強みや特質を伝えた上で、地方都市の新しい公共事業の形を相談している。今年度は、令和4年度の試験的導入に向けて事業規模の把握、業務の洗い出しを進め、業界の意見を反映した上で導入計画を策定し、モデル地区を選定することとしている。

〔問〕 旧正札竹村新館棟の利用状況について。問合せはあるのか。事務所、店舗にこだわらず、移住促進の拠点等、幅広い利用を促進するべき。また、ごみの撤去はどうなったのか。

〔市長〕 新たな問合せはない。コロナ禍を機にリモートワークや、新しい働き方や生活様式などデジタル化が進展する中、様々な視点で利活用を検討したい。ごみの撤去は早急に費用等を積算し議会で相談したい。

〔問〕 多額のたばこ税に考慮し、また、分煙の徹底を図るため、近隣の裁判所、郵便局と連携し、本庁舎敷地内に喫煙スペースを設置するべき。

〔市長〕 喫煙者、非喫煙者の共存社会の実現と安定的なたばこ税収確保の観点から、受動喫煙が生じないよう公衆屋外分煙施設の整備について、継続して検討している。

令和3年
第1回臨時会

主な議案等の審議結果

議長・副議長選挙

新議長に藤原明議員を選出
新副議長には田中耕太郎議員を選出
(新しい議会の構成は2、3ページに掲載)



議長選挙の様子



藤原明新議長の就任挨拶

専決処分の承認

承認

認第4号 専決処分の承認について

(大館市市税条例等の一部を改正する条例)

認第5号 専決処分の承認について

(令和3年度大館市一般会計補正予算(第1号))

認第6号 専決処分の承認について

(令和3年度大館市一般会計補正予算(第2号))



令和3年5月20日に開催された令和3年第1回臨時会は、議長・副議長の選挙、専決処分の承認のほか、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の定数及び選任、監査委員の選任などを議決・決定しました。

6月定例会

令和3年6月定例会は、6月7日から24日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告10件、条例案1件、単行案4件、予算案5件、人事案1件、合計21件でした。ここでは審議の結果の主なものをお知らせします。

条例案

原案可決

議案第69号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

単行案

原案可決

議案第70号 旧大館市本庁舎ほか解体工事の請負契約の締結について

議案第71号 財産の無償譲渡について(建物 花岡町字根井下地内)

議案第72号 財産の無償譲渡について(建物 葛原字旭沢口地内)

議案第73号 財産の取得について(消防ポンプ自動車(CD-I型水槽付き)1台)

予算案

原案可決

令和3年度大館市一般会計補正予算(第3号)案

《主な事業》

- ・ ふるさと応援寄附基金積立金追加 9,562万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策基金積立金計上 847万円
- ・ 二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金計上 16億2,703万円
- ・ 除雪車両購入費計上 4,075万円
- ・ 大館郷土博物館空調設備更新事業費計上 2,250万円

以上を含め、歳入歳出予算補正額 24億3,794万4,000円

予算案

令和3年度大館市一般会計補正予算（第4号）案

原案可決

《主な事業》

- ・ 子育て世帯生活支援特別給付金事業計上 4,990万円
- ・ スポーツによる地域活性化推進事業計上 1,047万円
- ・ 林業施設災害復旧費計上 526万円

以上を含め、歳入歳出予算補正額 7,230万2,000円

令和3年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第1号）案

原案可決

令和3年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案

令和3年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案

6月定例会に提出された請願・陳情

採 択

請願第7号 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出要請について

継続審査

陳情第39号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引上げを図るための、2022年度政府予算に係る意見書の提出要請について

陳情第40号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について

陳情第41号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の提出要請について

継続審査となっていた請願・陳情

継続審査

請願第3号 秋田犬会館の改修工事への助成について

請願第4号 地域医療を守り、公的病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について

陳情第6号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について

陳情第8号 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について

陳情第9号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について

陳情第10号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について

陳情第25号 公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書の提出要請について

陳情第30号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について

陳情第38号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出要請について

— 大館市議会から意見書を提出しました —

○地方財政の充実・強化に関する意見書

《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、
内閣府特命担当大臣（経済財政政策、少子化対策・地方創生）

全国市議会議長会表彰

6月定例会において、議員在職30年・25年・10年の議員に表彰状が伝達されました。

在 職 30 年



花岡 有一 議員



笹島 愛子 議員



相馬 エミ子 議員

在
職
25
年



菅 大輔 議員



表彰状伝達の様子

在
職
10
年



佐藤 眞平 議員



佐藤 芳忠 議員



富樫 孝 議員

議会報委員会 の紹介

～ 議会の情報を皆様にお届けします ～

年4回（5月、8月、11月、2月）発行する「市議会だより」は私たちが編集しています。

見やすく親しみのもてる紙面づくりを心がけてまいります！

写真右から

小畑	佐藤	石垣	笹島
新一	芳忠	博隆	愛子
委員	委員長	副委員長	委員



大館市役所新庁舎5階展望ロビーにて

※写真撮影のため、マスクを外しています。

市議会の傍聴自粛のお願い

市議会では新型コロナウイルス感染症予防として「3つの密」を避けるための対策を講じています。傍聴席も少なくするなど、制限していますので、当面の間、本会議の傍聴を自粛してくださいようお願いいたします。

なお、傍聴する場合はマスクを着用し、議場入り口でアルコール消毒をしてください。

せき・発熱などで体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。

編集後記

私達市議会議員は市民を代表して市長等の市政運営をチェックし、民意を市政に反映させるために活動しています。一般質問にはその時々々の市の施策や方針についての問題点や市民や地域の要望等を取り上げられていますので、市議会だよりをお読みいただければ市政の状況がわかりただけだと思います。しかし市議会だよりは数万字にも及ぶ質問と答弁を800字程度にまとめたものですので、議場での一般質問の傍聴をお勧めします。議場がある5階からの眺めは素晴らしいので是非いらしてください。



(佐藤 芳忠 記)